

観光を通じて、交流と地域経済の活性化を目指します。

インバウンドを北海道の成長力につなげるための、さまざまな取り組みを紹介します。
▶特集に関するお問い合わせ 道庁観光局 ☎(011)204-5306

北海道の魅力の世界へ発信

●戦略的な宣伝・誘致活動を進めています

海外からの観光客とひと口に言っても、国や地域によって北海道観光へのニーズはさまざま。それぞれのニーズに合わせて北海道の魅力効果を効果的に伝えることが重要です。

そこで道では、現地旅行会社やメディア関係者、あるいは訪日旅行を検討している方を対象にした現地セミナーや商談会などを開催し、各国の特徴に応じたプロモーションを行っています。また、最近では個人旅行者が増え、観光

客のニーズがより多様化していることから、海外企業と連携協定を締結し、海外企業のネットワークを活用したプロモーションも進めています。

さらに、スキープロモーションでは、各国の現地旅行会社を対象として道内スキー場の視察などをする100人規模のモニターツアーを組んでいます。

このほか、映像やSNS*などを効果的に組み合わせ、北海道の魅力を海外に向けて情報発信しています。



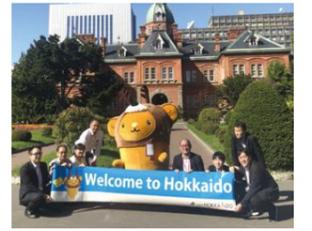
タイでの観光プロモーション ※SNS/フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどの総称

●元氣な北海道をPR

北海道胆振東部地震では、一部地域を除く道内の大部分の地域は、交通や宿泊など観光客の受け入れには支障のない状況でしたが、震災以降、国内および海外からの観光客は減少しました。

そのため道では、北海道観光が安全・安心に楽しめることを正しく伝えるため、「元氣です!北海道」を合言葉にした動画メッセージの作成や国内外での復興プロモーション、SNSなどを通じて、魅力あふれる北海道の元氣な姿を幅広く発信しています。

また、風評被害を払しょくして観光需要を早期に回復するために、国などと連携して道内の旅行商品や宿泊料金を割引する「北海道ふっこう割」を実施しています。



動画メッセージで元氣な北海道を発信

連携協定によって誘客に弾み。相乗効果の高いプロモーションを。

当社は、上海に本社を置く中国最大手のオンライン旅行会社です。ネット会員数は約3億人、掲載施設数は全世界で約120万件。2014年に日本法人を立ち上げ、札幌など6地域に事務所を開設しました。現在は、中国主要都市と結ぶ新千歳空港直行便の増便に向けて働きかけを行っているほか、道内のバス会社やレンタカー会社などと連携してパッケージ旅行商品の開発を進めています。

中国の国内人口約15億人のうち、パスポート取得者は約7%。北海道は雄大な自然と食の魅力で人気の観光地ですが、来訪経験者は上記取得者全体の1%以下ですから、今後さらなる旅行者数の伸びが期待できます。

2018年9月には、北海道および公益社団法人北海道観光振興機構と連携協定を締結(左写真)。中国市場などでの共同プロモーションや、観光情報の共有、道内宿泊施設への誘客などを進めています。企業と行政など関係機関が連携して取り組むことにより、プロモーションの相乗効果がより一層高くなると考えています。



株式会社Ctrip
International
Travel Japan
ホテル事業部
北海道&沖縄エリア
統括部長
王仁清さん

道、北海道観光振興機構と締結した連携協定の調印式

旅の満足度を高めるために

●国際的に質の高い観光地づくり

道と北海道観光振興機構では、地域と連携して勉強会やワークショップを開催するなど、特色ある観光地づくりを進めています。

また、個人旅行のニーズが高まる中、公共交通機関を補う便利な移動手段として、海外からの観光客のレンタカー利用が飛躍的に伸びています。道内各地の観光資源を自由に移動しながら楽しめるのがドライブ観光の魅力。そのニーズと課題を把握し、今後の充実に役立てていきます。

さらに、海外からの観光客のニーズが高い夜間観光も、インバウンドによる消費拡大の鍵といえます。日中だけでなく、夜の時間帯を有効に使って楽しめる体験メニューの開発や観光資源の掘り起こしを進めていきます。

北十勝4町で連携して魅力発信。プロモーションは継続が大切です。

十勝川温泉地域でインバウンドの取り組みを始めたのは18年前。国内の団体バスツアーが主流の時代でしたが、「将来のためにアジアから誘客をしなければ」と、香港、台湾、シンガポール、タイへの誘致宣伝活動を継続的に進めてきました。

それと並行して、事業者目線ではなく徹底した観光客目線で地域資源の磨き上げを重ねてきました。現在は「美と健康」をテーマとしてモール温泉、十勝の食、体験型プログラムを組み合わせた観光振興に力を注いでいます。



去年は、北十勝4町(菅更町・土幌町・上士幌町・鹿追町)で取り組む事業において、2年連続して海外でのプロモーションを実施。これまでとは違う手応えがあり、大きな励みになりました。プロモーションは、種をまくとすぐに芽が出るわけではありませんが、継続すれば実を結びます。観光地連携して、選ばれた観光地づくりを進めていきます。



冬の魅力を伝える台湾でのプロモーション



冬、海外からの観光客を楽しませる地元関係者による音光のイベント「彩蓮華」

●海外からの観光客のレンタカー利用も増えています

道は、日本での運転に不慣れた外国人ドライバーへの配慮を周囲に促すため、「外国の方が運転しています」と記したステッカーをレンタカー会社などに配り、貸し出す車に貼ってもらうよう呼びかけています。

道民の皆さんも、ステッカーの貼られた車を路上で見かけたら、初心者マークの車と同じように温かく見守ってください。



外国人ドライバー向けのステッカー

北海道観光PRキャラクター キュンちゃん

キュンちゃんはエゾナキウサギ。小心者の自分をちょっとだけ隠すために、エゾシカのかぶりものを身につけています。北海道にしかない風景やおいしいものを求めて、「キュン」と心に響く旅を続けています。



こんにちは!
赤れんが
お問い合わせは
▶マークの窓口、またはホームページへ。

除雪・雪下ろしの事故や暴風雪に注意を

除雪作業時の事故や、万が一の暴風雪から身を守るため、次のことを心掛けましょう。

- 【除雪・雪下ろし】
- 雪下ろしは1人ではなく複数で行い、屋根からの転落や落雪に注意。
 - 健康に注意し、無理な作業はしない。
 - 除雪機を使う場合は巻き込まれにくい服装で、トラブル時はエンジン停止。
 - もしもに備え携帯電話を身につける。

【暴風雪】

- 悪天候が予想されるときは不要不急の外出を控える。
- 外出中の場合、コンビニエンスストアなどで天気の回復を待つ。
- 車が埋まったら、エンジンを停止し、防寒着や毛布などで体温低下を防ぐ。



▶道庁危機対策課 ☎(011)204-5008

民族共生象徴空間の愛称とロゴマークが決定

2020年4月24日、白老町にオープンする「民族共生象徴空間」の愛称とロゴマークが決定しました。

愛称は、インター



ネットなどで全国投票を行った結果、アイヌ語で「(おおぜいで)歌うこと」を意味する「ウポポイ」に決定。ロゴマークは、ポト湖周辺の山並みや湖といった自然環境、アイヌの男性が儀礼用の太刀を下げるための帯(エムシツ)の文様を、また、アイヌ語で「たくさん」を表す表現にも用いられる数「6」を下に縦線の本数に使い、多くの人々がここに集うことをイメージしています。

▶道庁アイヌ政策課 ☎(011)206-6473

「北海道SDGs推進ビジョン」を策定しました

「持続可能な開発目標(SDGs)」は、国連で採択された「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す国際社会全体の目標です。北海道でも、世界とともに歩む持続可能な地域づくりを進めていくため、SDGsの達成に向けた取り組みの積極的な推進が重要となっています。

このため道では、道民の皆さんがSDGsについて考え、自らの行動につなげていくための指針としてビジョンを策定し、これを共有しながら、北海道全体でSDGsの推進を図っていきます。

▶道庁計画推進課 ☎(011)206-6798

心がつらいときは迷わず相談を

「生きているのがつらい」「よく眠れない」、物事に集中できない、「過去のつらい体験を思い出し強い不安にかられ動揺する」といった悩みがある場合は、すぐに相談してください。ご本人はもちろん、ご家族の方の相談も受け付けています。

- 電話相談 ☎0570-064-556 平日9～21時 土日祝10～16時(12月29日から1月3日を除く)
- 来所相談 平日8時45分～17時30分 北海道立精神保健福祉センター 札幌市白石区本通16丁目北6-34 ☎011-864-7000(要予約)

鳥インフルエンザ対策にご協力ください

鳥インフルエンザの発生を防ぐため、次の点に注意しましょう。

- 鶏などの飼養農場には、必要がない限り入らないようにしましょう。
 - 飼っている鳥に野鳥が近づかないよう気をつけましょう。
 - 死んだ野鳥や弱っている野鳥を見つけても、素手で触らないでください。
 - 鳥のフンなどに触れたら、手洗いとうがいをしましょう。
 - 野鳥のいる水辺などを訪れた後は、靴底を洗いましょう。
- ▶道庁畜産振興課 ☎(011)204-5441
▶道庁生物多様性保全課 ☎(011)204-5205

国際テロ対策強化中です

10月25、26日に真知安町で開催されるG20観光大臣会合には、世界から多数の要人が集まります。その会合に向け、国際テロ対策を強化しています。

不審者や不審物を発見した場合は、110番またはお近くの警察署、交番へ通報してください。皆さんの行動が、国際テロの未然防止につながります。

▶道警本部外事課 ☎(011)251-0110

LINE(SNS)を活用した相談窓口を試行実施します

いじめなど、さまざまな悩みを抱える子どもたちが気軽に相談できるよう、期間及び対象限定でLINEによる相談窓口を設置します。利用対象の方には学校を通じてお知らせします。

実施期間及び時間	●3月11日(月)～20日(水)までの16～21時
対象	●白鳥、檜山、留萌、宗谷、十勝、オホーツク、根室管内の中学生 ●胆振東部地区の中学生

▶教育庁学校教育局参事(生徒指導・学校安全) ☎(011)204-5755

「動くよ! 広報紙ほっかいどう」

道の動画サイト「北海道庁インターネット放送局」では道職員が出演・制作するPR動画を配信。道の施策やイベント情報、北海道の魅力などをお届けしています。

▶道庁インターネット放送局 ☎(011)204-5306

おすすめ! 地域から

総合振興局・振興局の話題をお届けします。

後志総合振興局
北海道にしながら海外感覚! ニセコで留学体験をしよう

世界的な国際スキーリゾートを有する後志地域には、毎年、海外から多くの観光客が訪れます。特にニセコ地区は、スキーリゾートや飲食店などで働く外国人スタッフも多く、北海道にいなから海外にいるような感覚を味わえます。

そんな環境の中、2年前から道内外の若者を対象に、仕事や暮らしを通して英語力や国際感覚を高めるインターンシップ「ニセコ留学」を実施しています。「海外留学中よりも英語を使った」など、参加者体験談をホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください。

▶ニセコ留学 ☎(0136) 23-1419

炭鉄港の歴史のつながりを地域の元気に!

「炭鉄港」とは、空知(石炭)、室蘭(鉄)、小樽(港)と、これらをつなぐ鉄道を舞台に繰り広げられた、北海道の産業革命をストーリーとして構築したものです。これらを軸に、日本遺産の認定を目指すとともに、交流人口の拡大といった地域活性化に向けた取り組みを行っています。

昨年11月29日には、札幌市内で「炭鉄港」セミナーを開催し、約500人が参加しました。これからも、歴史や生活・文化を含めた、産業遺産の魅力を発信していきます。

▶炭鉄港 ☎(0126)20-0034

石狩振興局 いしかり農業・農村を自動販売機デザインでPR

石狩振興局では、包括連携協定を締結しているポッカサッポロ北海道(株)、北海道大学と協力し、地域農業・農村PRと担い手育成を目的とした寄付型自動販売機の設置を進めています。

自動販売機は、学生と振興局若手職員が作成したコンセプトを「北のまんが大賞」受賞者がイラスト化し、市町村ごとの農業・農村の特色を表現しています。

自動販売機の売り上げの一部は、石狩管内指導農業者・農業者士会に寄付され、担い手育成のための活動費となります。

▶農務課 ☎(011)204-5845

道議会

定期会の概要などをお伝えします。

平成30年第4回定期会(11/27～12/13)

■定期会の概要
知事から提案のあった予算案4件(総額323億200万円)と条例案14件、その他の案件12件が議決されるとともに、継続審査中の平成29年度各会計決算4件が認定議決されました。また、議員から提出された条例案1件、決議案1件、意見案6件が原案可決されました。

■本会議や予算特別委員会の主な議論

- 胆振東部地震で被災した地域や産業の復旧・復興に向けた取り組みについて
- 外国人材を受け入れるための法改正を受け、外国人材の居住割合が高くなる地域での多文化共生社会実現に向け、どう対応するのかについて
- 北方領土問題に対し11月の日口首脳会談を受け、どう対応するのかについて
- JR北海道の路線見直しに関し、鉄道活性化協議会で議論された利用促進策をどのように取り組んでいくのかについて
- ☆予算特別委員会からは、審査経過を踏まえ、JR北海道の事業範囲見直しやホッカイドウ競馬における着順の誤審についての意見が付けられました。

■主な議決の状況

- ◎知事提出案件 34件
- JR北海道の利用促進に向けた広域的な取り組みを展開するための経費など

◎議員提出案件 8件

- 条例案 1件 「北海道植樹の日・育樹の日条例案」
- 決議案 1件 「国際リアアライダーの誘致に関する決議」
- 意見案 6件 「新たな外国人材受け入れの適正な実施と多文化共生社会の実現に関する意見書」など

北海道植樹の日・育樹の日条例

●植樹の日 5月の第2土曜日
●育樹の日 10月の第3土曜日

道民一人ひとりが、植樹及び育樹を通じて、北海道の森林の豊かなさやさまざまな恵みに感謝する心を育み、協働による森林づくりを進め、北海道の豊かな森林を未来に引き継いでいくことを期する日として、植樹の日、育樹の日を設けます!

「芽森(めもりー)」
森林づくりシンボルキャラクター

植樹や育樹に関する情報はこちら
北海道 森林活用課 ☎(011)204-5691

～定期会のお知らせ～

平成31年第1回定期会が開会しています。議会中継は、スマートフォンでもご覧いただけます。

～ホームページをご覧ください～

議会議中継、議会の日程、会議録、傍聴・見学会案内、議会時報などをご覧いただけます。
北海道議会 ☎(011)204-5691

質問などの詳細は、冊子「北海道議会時報」でもご覧いただけます。各振興局等での閲覧のほか希望者への配布もしますので、下記電話番号までご連絡ください。

▶議事事務局政策調査課 ☎(011)204-5691